

所属・氏名（健康科学部 医療福祉学科 氏名：赤井 俊幸）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名 称	概 要
1 (著書) 心理学基礎実習マニュアル	共著	平成 21 年 3 月	北大路書房	<p>著書全体の概要:心理学系学科における実験演習や調査演習、心理検査演習で用いられることを念頭に置いて作成した教科書である。心理学における重要事項を、学生自らが演習を行うことを通して体得させるように構成されている。特に、心理学実験で必要となる測定法や実験計画法、推測統計、論理構成、倫理的配慮などに重点を置いている。(総ページ数:214 頁)</p> <p>(著者全体の著者名:宮谷真人、坂田省吾、赤井俊幸他 30 名)</p> <p>担当部分の概要:心的回転における認知処理過程を学生自身が検討するために、比較的短時間で簡易に実施できる実験を紹介し、研究背景、実験手続き、結果の整理、考察の観点について記述した。(担当ページ:pp.124~125、単著)</p>
2 (学術論文) 注意研究のための簡便な触覚刺激装置－触覚における空間的ネガティブ・プライミング効果に関する予備的研究－《筆頭論文》	単著	平成 18 年 1 月	広島国際大学医療福祉学科紀要 第 2 号(pp.51~73) 広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科	<p>論文全体の概要:触覚刺激の選択過程における注意の機能を検討するために、簡便な触覚刺激装置を製作した。また、その有効性について空間的ネガティブ・プライミング課題において確認した。(ページ数:23 頁)</p>
3 (学術論文) 周波数弁別課題における空間的復帰抑制に及ぼす垂直方向サッケードの効果《筆頭論文》	単著	平成 21 年 3 月	広島国際大学医療福祉学科紀要 第 5 号(pp.45~54) 広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科	<p>論文全体の概要:筆者による先行研究では、周波数弁別課題においては空間的復帰抑制が観察されなかった。その原因としては、左右位置に呈示される先行刺激に対する水平方向のサッケード準備が推測された。そこで、水平方向のサッケード準備を妨害するために垂直方向のサッケードを周波数弁別課題と共に遂行させた。その結果、先行研究と同様に空間的復帰抑制は観察されなかった。このことから、周波数弁別課題における復帰抑制の非生起には、水平方向のサッケード準備以外の要因が関与していることが示唆された。(ページ数:10 頁)</p>
4 (学術論文) 広島国際大学における障害学生に対する修学支援－聴覚障害学生に対する支援を中心に－《筆頭論文》	共著	平成 22 年 3 月	広島国際大学医療福祉学科紀要 第 6 号(pp.1~10) 広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科	<p>論文全体の概要:広島国際大学における「身体等に障害のある学生に対する修学支援に関する活動指針」を概説した。そして、この指針に基づいて実践した聴覚障害学生に対する修学支援を報告した。実践の結果、入学前における十分な相談や支援者の安定的な確保、障害学生と支援者との心理的交流、学外の高等教育機関との連携に関して改善すべき点が示唆された。(ページ数:10 頁)</p> <p>(論文全体の著者名:赤井俊幸、川上由紀子、鹿島達哉、長澤真由子、加賀谷有行)</p> <p>担当部分の概要:活動指針の策定と解説、障害学生への支援、支援についての考察、および論文全体の執筆を行った。(担当ページ:pp.1~10、共著)</p>